

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年11月22日

計画の名称	中国山地の豊かな自然を活かした広域周遊観光活性化計画											
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	岡山県											
計画の目標	中国山地の豊かな自然と、歴史文化施設や温泉地などの観光拠点を有する岡山県と鳥取県が連携し、中国横断自動車道(岡山米子線)、中国縦貫自動車道、鳥取自動車道及び現在整備が進んでいる地域高規格道路北条湯原道路を軸として、観光拠点へのアクセス性を向上させ、広く圏域外からの来訪者の増加を図るとともに、山陰と山陽を結ぶ広域的な観光エリアとしての魅力を高め、観光入込客の増加など地域の活性化を図る。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,565	A	1,565	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27~29平均値)	中間目標値 (H33末)	最終目標値 (H35末)
1	【岡山県・鳥取県 共通目標】 拠点施設の観光入込客数108万人(H27~H29平均)から112万人(H35)に増加 (4万人(3%)の増加) 【鳥取県・岡山県 共通目標】 拠点施設の観光入込客数3%(4万人)増加 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の年間観光入込客数 - H27~H29平均の年間観光入込客数) / (H27~H29平均の年間観光入込客数)	108万人	110万人	112万人
2	【岡山県 単独目標】 高梁川流域連携中枢都市圏における拠点施設の観光入込客数144千人(H27~H29平均)から149千人(H35)に増加 (5千人(3%)の増加) 【岡山県 単独目標】 高梁川流域連携中枢都市圏における拠点施設の観光入込客数3%(5千人)増加 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の年間観光入込客数 - H27~H29平均の年間観光入込客数) / (H27~H29平均の年間観光入込客数)	144千人	146千人	149千人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
広域連携事業	A11-001	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(主)新見川上線 布瀬 工区	現道拡幅 L=1.30km	高梁市						422	1.65	-	
	A11-002	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(主)新見日南線 足立 工区	現道拡幅 L=0.51km	新見市							229		-
	A11-003	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(主)北房井倉哲西線 草間工区	現道拡幅 L=0.15km	新見市							55		-
	A11-004	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(主)北房井倉哲西線 豊永佐伏工区	現道拡幅 L=0.30km	新見市							222		-
	A11-005	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(主)新見川上線 矢戸 工区	現道拡幅 L=1.20km	新見市							320		-
	A11-006	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	国道	改築	国道482号 上徳山工 区	現道拡幅 L=0.30km	真庭市							110		-

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-007	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一) 蒜山高原線 下長 田工区	現道拡幅 L=0.44km	真庭市						89	-	
	A11-008	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(主) 和気笹目作東線 万善工区	現道拡幅 L=0.27km	美作市						118	-	
												小計						1,565	
												合計						1,565	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	R05
配分額 (a)	189	109	50	20	21
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	189	109	50	20	21
前年度からの繰越額 (d)	0	106	70	21	13
支払済額 (e)	83	145	99	28	0
翌年度繰越額 (f)	106	70	21	13	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	34
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	100
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					現時点において、支払済額未確定のため。

事前評価チェックシート

計画の名称： 中国山地の豊かな自然を活かした広域周遊観光活性化計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

計画の名称	中国山地の豊かな自然を活かした広域周遊観光活性化計画	交付対象	岡山県（鳥取県と連携）
計画の期間	平成31年度～平成35年度（5年間）		

